

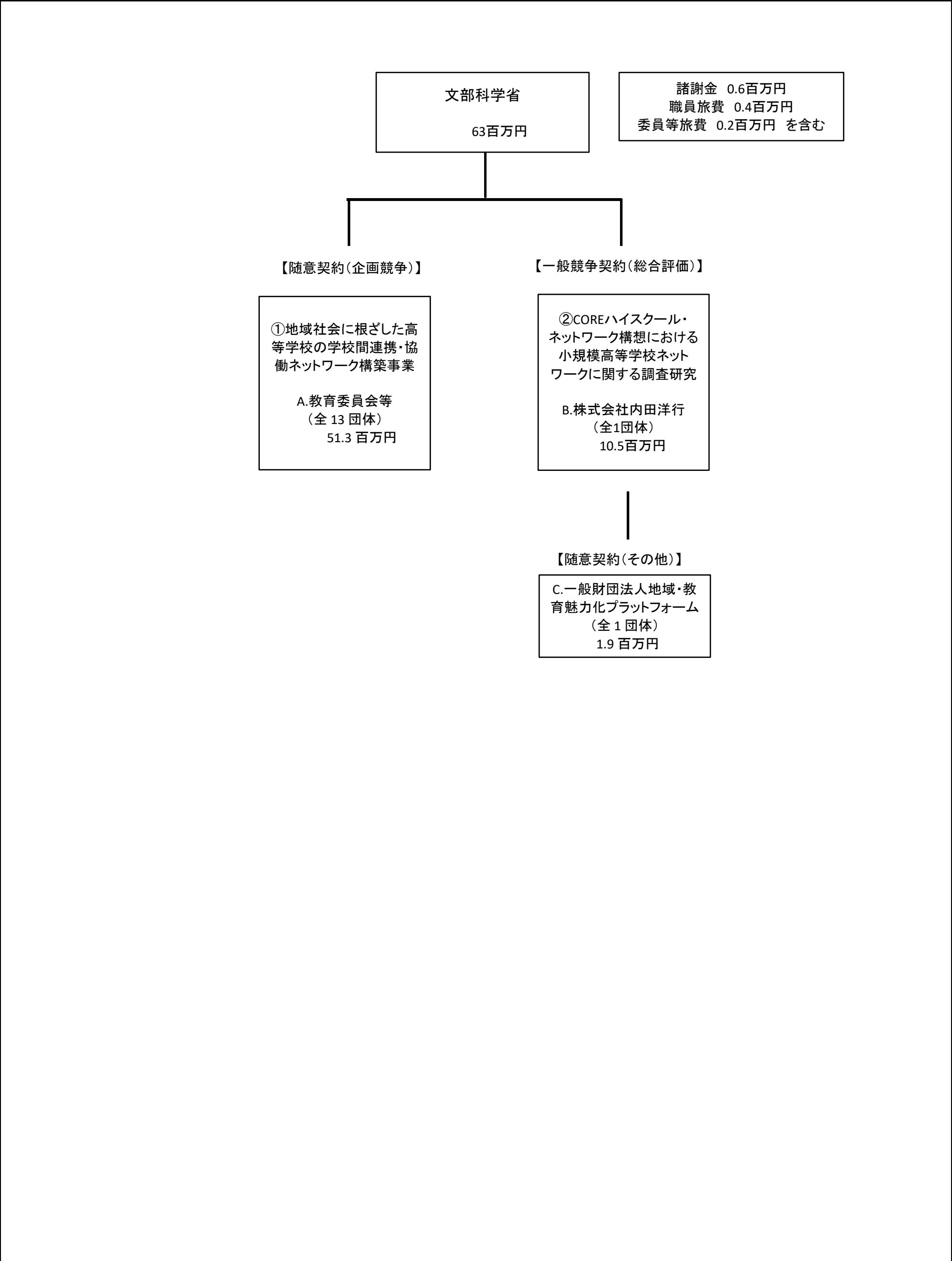
		令和5年度行政事業レビューシート				(文部科学省)	
事業名	地域社会に根ざした高等学校の学校間連携・協働ネットワークの構築事業(COREハイスクール・ネットワーク構想)			担当部局庁	初等中等教育局		作成責任者
事業開始年度	令和3年度	事業終了(予定)年度	令和5年度	担当課室	参事官(高等学校担当)		参事官(高等学校担当) 田中 義恭
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	教育再生実行会議第11次提言(令和元年5月17日) 経済財政運営と改革の基本方針2019(令和元年6月21日閣議決定) 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和元年12月20日閣議決定) まち・ひと・しごと創生基本方針2020(令和2年7月17日閣議決定)		
政策	2 確かな学力の向上、豊かな心と健やかな体の育成と信頼される学校づくり			主要経費	教育振興助成費		
施策	2-1 確かな学力の育成						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-07-2.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	複数の高等学校の教育課程の共通化・相互互換やICTの最大限の活用により、中山間地域や離島等の高等学校においても生徒の多様な進路実現に向けた教育・支援を可能とする高等学校教育を実現し、持続的な地方創生の核としての高等学校の機能強化を図る。						
現状・課題 (5行程度以内)	中山間地域や離島等に立地する小規模高等学校においては、地域唯一の高等学校として、大学進学から就職までの多様な進路希望に応じた教育・支援を行うことが必要であるが、教職員数が限定的であり、生徒のニーズに応じた多様な科目開設や習熟度別指導が困難。						
事業概要 (5行程度以内)	①小規模高等学校単独では開設が困難であった教科・科目の開設を可能とし、生徒の進路希望に対応した多様な科目開設や習熟度別指導の実現や、免許外教科担任制の利用解消を図るなど、多様かつ質の高い高等学校教育を実現するため、複数の高等学校の教育課程の共通化・相互互換や、同時双方向型の遠隔授業などICTを活用した連携・協働した取組を実施する。加えて、高等学校が立地する地元自治体等の関係機関と連携・協働する体制を構築し、地域課題の解決等に関する探究的な学びを提供する取組に係る調査研究を実施する。 ②①の事業の取組状況の検証を通じ、各ネットワークにおける成果や課題を調査・分析し、COREハイスクール・ネットワーク構想に参加していない地域が参照可能な小規模高等学校ネットワークモデルについての調査研究を実施する。						
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/content/20210830-mxt_koukou01-000016270_01.pdf						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の状況	当初予算(A)	-	207.6	77.7	77.7	-
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	207.6	77.7	77.7	-	
	執行額(G)		-	180.3	63		
	執行率(%) =(G)/(F)		-	87%	81%		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		-	87%	81%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	初等中等教育振興費			・令和5年度廃止事業の為減		
	(目)	初等中等教育振興事業委託費	74	-			
	(目)	委員等旅費	2	-			
	(目)	諸謝金	1	-			
	(目)	職員旅費	0	-			
	(目)	教員研修費	0	-			
		その他	0	-			
	計(A)		77.7	-			

活動内容① (アクティビティ)		中山間地域や離島などに立地する小規模高校における同時双方向型の遠隔授業などICTを活用した連携・協働の実践								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		立地条件等に関わらず、進路希望に応じた授業の受講を可能化	拠点地域における遠隔教育による実施科目数	活動実績	科目	-	73	150	-	-
				当初見込み	科目	-	73	136	200	-
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	立地条件等に関わらず、進路希望に応じた授業の受講を可能化する指標として、学びの基礎診断等により把握した学力の状況が向上している学校数が有効と考えられる。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5 年度	
		遠隔教育や地域課題の解決等の探究的な学びを通じて、生徒の学力が定着・向上	学びの基礎診断等により把握した学力の状況が向上しているネットワーク枠内の学校数	成果実績	校数	-	-	62	-	
				目標値	校数	-	-	-	70	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		令和4年度「COREハイスクール・ネットワーク構想における小規模高等学校ネットワークモデルに関する調査研究」中間報告書 ※成果実績: 令和3年度分までのデータなし								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		中山間地域や離島などに立地する小規模高校における同時双方向型の遠隔授業などICTを活用した連携・協働の実践による最終目標が、遠隔教育や地域課題の解決等の探究的な学びを通じた生徒の学力が定着・向上することであるため。								

活動内容② (アクティビティ)		地元自治体等の関係機関と連携・協働する体制の構築									
↓											
活動目標及び活動実績② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		学校外の教育資源を活用した教育の 高度化・多様化	地域課題の解決等の探究的 な学びに関する学校設定教 科・科目数	活動実績	科目	－	53	89	－	－	
				当初見込み	科目	－	60	78	100	－	
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	学校外の教育資源を活用した教育の高度化・多様化の指標として、地元自治体等の関係機関とコンソーシアムを構築している学校数が有効と考えられる。									
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5 年度		
		地元自治体等と連携・協働し、地域課 題等の解決等に関する探究的な学び の提供	地元自治体等の関係機関とコ ンソーシアムを構築している 学校数	成果実績	校数	－	41	55	－		
				目標値	校数	－	63	63	63		
				達成度	%	－	65.1	87.3	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		令和3年度「COREハイスクール・ネットワーク構想における小規模高等学校ネットワークモデルに関する調査研究」中間報告書 令和4年度「COREハイスクール・ネットワーク構想における小規模高等学校ネットワークモデルに関する調査研究」中間報告書									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由									
		－									
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由									
		地元自治体等の関係機関と連携・協働する体制の構築の最終目標が、高等学校が地元自治体等と連携・協働し、地域課題等の解決等に関する探究的な学びを推進することであるため。									
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称	－									
	URL	－									
	該当箇所	－									

事業所管部局による点検・改善																											
点検結果		「中山間地域や離島などに立地する小規模高校における同時双方向型の遠隔授業などICTを活用した連携・協働の実践」、「地元自治体等の関係機関と連携・協働する体制の構築」ともに上記活動指標及び成果指標が示しているとおり、順調に実施されている。本事業は、複数の高等学校の教育課程の共通化・相互互換やICTの最大限の活用により、中山間地域や離島等の高等学校においても生徒の多様な進路実現に向けた教育・支援を可能とする高等学校教育を実現し、持続的な地方創生の核としての高等学校の機能強化を図るものであり、実施にあたっては、十分な効率性及び有効性が確保されるよう工夫している。												目標年度における効果測定に関する評価(令和〇年度実施)													
														-													
改善の方向性		事業の実施にあたり、委託先の団体と十分に連絡調整し、事業計画の進捗を管理するとともに、事業目的に沿った成果が効率的に達成されるように指導する。																									
外部有識者の所見																											
中山間地域、離島などの教育については、実技の指導など現場での実習とICTを活用した遠隔授業などのバランスを考慮しながら、推進する必要がある。																											
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見																											
終了予定		この事業は当初計画に基づき、令和5年度をもって予定通り終了することとしている。外部有識者からの所見も踏まえ、本事業により得られた成果については適切に活用されたい。																									
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況																											
予定通り終了		当初計画に基づき、令和4年度をもって予定通り終了。本事業により得られた成果については今後適切に活用する。																									
過去に受けた指摘事項と対応状況		公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ																									
		-																									
		上記への対応状況																									
		-																									
		その他の指摘事項																									
		-																									
		上記への対応状況																									
		-																									
備考																											
-																											
関連する過去のレビューシートの事業番号																											
平成23年度																											
平成24年度																											
平成25年度																											
平成26年度																											
平成27年度																											
平成28年度																											
平成29年度																											
平成30年度																											
令和元年度																											
令和2年度																											
令和3年度		2021	文科		新21		0004																				
令和4年度		2022	文科		21		0082																				

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	旅費		2.4	人件費		6.6
	消耗品費		1.2	再委託費		1.9
	その他経費		1.2	旅費		1.4
				その他経費		0.6
	計		4.8	計		10.5
	C.			D.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費		1.3			
	その他経費		0.6			
	計		1.9	計		
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載				チェック		

